



編集・発行 熊本県立菊池農業高等学校同窓会事務局 TEL 0968-38-2621 題字：越猪 忠祐 (同窓会顧問) http://www.higo.ed.jp/sh/kikuno/ 印刷 株式会社 かもめ印刷

久々の感動で冒頭が熱く！ 母校体育大会

熊本県立菊池農業高等学校同窓会 緑水会会長 工藤 靖成



本年も各位のご協力により第三回緑水会ゴルフ大会(肥後カントリークラブ)・研修旅行(山口県)・第一回グラウンドゴルフ大会(母校グラウンド)等の主催行事を無事終えることが出来ました。学校行事にも数回参加させていただきましたが、中でも体育大会・菊農フェスタについては目を見張るものがあり大変感激し母校の発展・充実ぶりを肌で感じる事が出来ました。



8番ホールでホールインワン



ただ、秋の最も多忙な時期に計画するとは何事か！...とのお叱りの言葉もありましたので、本年は百十周年行事とのからみなども勘案し適切な時期を模索します。◆本年も大津町在住の古庄さんのご協力で山口県の見島牛・見欄牛の牧場研修が出来ました。見島牛とは、日本海に浮かぶ見島で古くから飼育されていたため、他の品種との交配を免れ和牛としての原型を今日まで保ち続けていることから国の天然記念物に指定

されています。全身が霜降り肉で味が濃厚で格段に美味しいことから今注目の牛です。天然記念物ですが繁殖を奨励して限定商品としてレストランに提供し「種」の保存をしています。なお、この見島牛(雄)と乳牛ホルスタイン(雌)との交配種を見欄牛といい、見島牛の旨みを受け継いだ風味のある肉として大変好評です。本来F1(交雑種)はそれほど評価されていないのが通説ですが、食してみると驚きの食感でした。さて、来年の研修は？ ◆十月七日(日)晴天に恵まれて母校の体育大会が開催されました。



ややもするとふざけ半分になりがちな高校の体育大会を今まで拝見してきましたが、この度ばかりは心底から応援したくなるような実に素晴らしい真剣な態度・一糸乱れぬ機敏な行動・マナーに非常に感動しました。沢山のご来賓の方々からも賞賛

平成二十四年四月から川田博史前校長先生の後を引き継ぎ赴任しました。私にとって菊池農業高校は平成十年度から十四年度までの五年間の勤務に引き続き二度目の勤務であります。また、私の父(健爾)も、菊池農業高校の前身である菊池農蚕高校に昭和三十五年四月から三十九年三月まで勤務しており、その当時のことを母がよく話をしてくれました。私も菊池市の聖母幼稚園を卒業後、限府小学校に入学し一年間通いました。私のかすかな記憶によりますと小学校帰りに農蚕高校の桑畑で桑の実を食べたことや笹岡千九十四先生から馬に乗せてもらったことなどを思い出します。また、偶然にも父は昭和三十五年の第十五回国民体育大会で、私は平成十一年の第五十四回国民体育大会で馬術競技役員として親子とも関わる事が出来、本校との不思議な縁に大変驚いているところです。さて、我が国は東日本大震災の復旧復興に向けて動いている中、

の言葉があり、つい目頭を押さえたいしまいました。ご指導いただいている先生方に深く感謝の意を申し述べます。 ◆本年十一月十五日〜十七日に百十周年の記念行事を予定していましたが、記念講演では元巨人軍で活躍された桑田真澄氏にお願いしたいと思っております。素晴らしい記念行事となりますように各位のご協力をお願い致します。

平成二十四年七月には本県も含めた北部九州豪雨による大きな被害を受けました。本校がある菊池市泗水町でも合志川流域での被害が大きく、かつて菊池電車が走っていた橋も無残な姿になり、撤去される運命になりました。本校校舎においても、降り続いた雨の量に屋上の排水が間に合わず屋上がプールと化し、そこから溢れた大量の水が、屋上に入り込むドアのわずかな隙間から屋内に入り、階段を伝い滝のごとく一階まで流れ落ち、多くの教室が水浸しになりました。また、地域においても床上浸水の被害に遭われたご家庭もあり、今なお大変な思いをしておられることだろうとお見舞い申し上げます。このような状況の中、日々生徒と共に百十周年に向けた活動を中心に緑水会の皆様にご報告致します。まず、創立百十周年を迎えるにあたり生徒から標語の募集をおこないました。その中から「10を思いやる気持ちで大切に菊池農高110年」と「普通では学べないものがここに育てよう緑育てよう私たちの心と体」の二点を選び、生徒昇降口に掲げ意識の高揚に努めています。

現代の課題の一つに携帯あるいはスマホではスラスラ対話できるのに、人同士の会話にならうまく自分の意志を伝えられない、表現できない、いわゆるコミュニケーションがうまくできない人が多くなっています。本来、顔と顔を合わせて話をすることにより、その人の表情がわかるしその表情から心情や心遣いまで読み取ることが出来ました。ところが、情報機器では活字だけのやりとりのため、正しく意志を読み取る事ができず誤解を生じることも多々あるように聞いています。標語に

あるように、人を思いやる事や人と人のつながりを大切にすることの具現化として、まずはみんなでの挨拶をすることに取り組んでいきます。このことを率先して生徒会長と農業クラブ会長が朝早くから昇降口に立ち実践してくれ、その輪が大きく広がっているところであります。職員へは生徒より先に挨拶をしよう。挨拶が返ってくるまでしよう。との合い言葉で頑張っているところですよ。四月に比べると随分出るようになりましたが、まだまだ改善の余地は残されています。また、菊農に來たからこそ学べるものがきつとあるはずですよ。その一例として、花房寮での寮教育があると思えます。自宅とは異なり友達との共同生活の中から何かを学んで欲しいと思えます。このことが社会に出たときに役立つことだと確信しています。その他、農業科・園芸科・畜産科・食品化学科・生活文化科の各学科の特色ある教育をますます大切にしていこうと考えています。このことが本校の最大の特徴でもあります。

昨年度から復活した体育大会、本年度は体育科を中心に集団演技に力を注ぎました。力強さをアピールした男子生徒による組体操、リズムカルな音楽に合わせ可愛らしさを表現した女子生徒によるダンスがメインとなり、来場されたお客様のハートをしっかりとつかむことが出来ました。また、十一月に行われた菊農フェスタでは生活文化科生徒がファッションショーにトライし、来年度にはバージョンアップしたものが見られると思えます。このように百九年の歴史に裏付けられた伝統の菊農教育をさらにレベルアップさせようと、八十名の職員と力を合わせ努力しているところです。緑水会もゴルフコンペや研修旅行、本年度から始められたグラウンドゴルフなどの活動が活発になっていくことを非常に喜んでおります。緑水会の同窓生の皆様方には、蒼生会をはじめ、陰に日向に母校を支援して

あるように、人を思いやる事や人と人のつながりを大切にすることの具現化として、まずはみんなでの挨拶をすることに取り組んでいきます。このことを率先して生徒会長と農業クラブ会長が朝早くから昇降口に立ち実践してくれ、その輪が大きく広がっているところであります。職員へは生徒より先に挨拶をしよう。挨拶が返ってくるまでしよう。との合い言葉で頑張っているところですよ。四月に比べると随分出るようになりましたが、まだまだ改善の余地は残されています。また、菊農に來たからこそ学べるものがきつとあるはずですよ。その一例として、花房寮での寮教育があると思えます。自宅とは異なり友達との共同生活の中から何かを学んで欲しいと思えます。このことが社会に出たときに役立つことだと確信しています。その他、農業科・園芸科・畜産科・食品化学科・生活文化科の各学科の特色ある教育をますます大切にしていこうと考えています。このことが本校の最大の特徴でもあります。

- 2月22日 明日からの宮農を語る会 緑水会会計監査
2月29日 緑水会入会式及び卒業記念品贈呈
3月1日 平成二十三年卒業式
3月11日 緑水会総会
4月10日 入学式
4月19日 雇用関係契約会議
4月22日 植木支会総会
6月8日 蒼生会総会及び同窓職員歓送迎会
7月10日 執行部会議
7月31日 経営者育成後援会総会
8月6日 平和登校日・激励賞授与(火の国の翼参加生徒)
8月16日 植木支会ブドウ狩り
8月25日 第三回緑水会ゴルフ大会
9月4日 執行部会議
9月21日 監事(平田順一氏)死去
9月27日〜28日 研修旅行(山口県)
10月8日 第二回菊農体育大会
10月14日 第一回グラウンドゴルフ大会
11月11日 菊農フェスタ
12月10日 韓国ヨシユ自営農業高校來校(寮に宿泊)

平成24年緑水会事業報告



菊農創立百十周年に向けて



校長 杉本 弥

平成二十四年七月には本県も含めた北部九州豪雨による大きな被害を受けました。本校がある菊池市泗水町でも合志川流域での被害が大きく、かつて菊池電車が走っていた橋も無残な姿になり、撤去される運命になりました。本校校舎においても、降り続いた雨の量に屋上の排水が間に合わず屋上がプールと化し、そこから溢れた大量の水が、屋上に入り込むドアのわずかな隙間から屋内に入り、階段を伝い滝のごとく一階まで流れ落ち、多くの教室が水浸しになりました。また、地域においても床上浸水の被害に遭われたご家庭もあり、今なお大変な思いをしておられることだろうとお見舞い申し上げます。このような状況の中、日々生徒と共に百十周年に向けた活動を中心に緑水会の皆様にご報告致します。まず、創立百十周年を迎えるにあたり生徒から標語の募集をおこないました。その中から「10を思いやる気持ちで大切に菊池農高110年」と「普通では学べないものがここに育てよう緑育てよう私たちの心と体」の二点を選び、生徒昇降口に掲げ意識の高揚に努めています。

夢のヨーロッパ旅行記

古庄 寿治 美智子



ドイツ ローデンブルク



ドイツ ノイシュバンシュタイン城



ドイツ ライン川くだり



スイス マッターホルンのハイキング

夫は二時間おきにビールが飲めるこんな快適な旅はないと申ししておりました。ドイツでは、缶ビールを飲んでもあき缶を入れる箱がなくなり、店が全部買上げるというリサイクルの徹底には感心しました。スイスの景観は山の中腹にあるチーグ小屋などアルプスの少女ハイジを思わせる本当に美しい自然が大

切に保全され、早朝(午前四時半)に起床し夫と二人ツルマットの町の石畳を徒歩で三十分、朝焼けのマッターホルンを見に行き、めったに見られない目がしみるほど朱色に染まっていくマッターホルンの朝焼けを見ることができ感動しました。ホテルへの帰り、町中にパンを焼く香りがとても印象的でした。私は、ヨーロッパの食事は品数も少なく割と質素だと思いましたが、ドイツのパンやソーセージ、スイスの牛乳やヨーグルト・チーズは本当においしかったです。若い頃から、フランスのルーブル美術館へ行って美術全集に出てくる本物の絵画や彫刻を見てみたいと思っていました。しかしシーズンでもありものすごい人で、「モナ・リザ」もガラスケースの中で小さくしか見ることができず残念でした。ヨーロッパには本当に古い城や教会がたくさんあります。どれも石造りの歴史を感じさせるすばらしい建物で、特にフランスのベルサイユ宮殿の豪華さは当時の繁栄を思わせ、また宮殿内に飾られていたマリー・アントワネットの最も美しい時の肖像画の前に

我々は、昭和四十四年度(第六回) 菊池農業高校畜産科卒業生四人仲間です。大きな夢と希望を持って、各自の畜産專業経営を目指して卒業しました。社会情勢の変化に伴い途中からそれぞれ進む道は違ってきましたが、独身時代は四人で毎年数回飲み会、結婚したら夫婦を交えて会を続け、子どもが出来たら徐々に人数が増え、一番多い時にはそれぞれの子ども三人も加え、二十人でクリスマス会をしたこともあります。

若い頃から夢にまで見たヨーロッパの旅は、少し大袈裟かもしれませんが、私にとって人生の節目の様に思えました。酪農という仕事に従事し一生懸命生きてきた私に、今一つ何かをやらなくてはという思いがありました。ドイツ、スイス、フランス、イギリスという遠く離れた土地に生きる、それぞれの国の人々の生活や風土を見て少しながら体験することができた事で、日本人の一人としてまだまだ頑張らなくてはならないというエールと、また日本人として失ってはならない大切なものを、改めてしっかりと見つめ直すという意識を持って、これからの人生を生きて行こうと強く思いました。

Table with 2 main sections: '平成24年3月卒業生進路先一覧' and '進学'. It lists career paths and university admissions for graduates, categorized by class and major.



大分県(昭和町商店街) 高校時代の懐かしい物が溢れていて、高校時代に戻って昔話が弾み楽しい時間を過ごすことが出来ました。



☆「火の国の翼」に 6名の生徒が参加 例年行われている「火の国の翼」今年八月十七日〜二十一日(四泊五日)の日程で韓国を訪問することにになり、本校から六名の生徒が参加。参加生徒を激励するため、八月六日に会長より激励の言葉と金一封が渡されました。

現在、子ども達は独立し、数十年前の八人会に戻り、一泊二日程度、近場での旅行をしています。今年十二月別府の杉の井に宿泊し、高校時代の楽しい思い出話に花を咲かせて本当に有意義な時間を持つことが出来ました。以上近況報告でした。来年は母校創立百周年記念の年です。菊池農業高校が益々発展することを祈念しています。

☆第1回緑水会 グラウンドゴルフ大会 十月十四日に菊池運動場で第一回グラウンドゴルフ大会を実施。会長・副会長始め二十七名の会員が参加、学校から校長も参加され和気藹藹とプレーされ賑わった。それに伴い菊池の「田中スポーツ」より、立派なトロフィーが寄贈されました。第一回の優勝者は、植木町の早川正一氏でした。

☆第3回緑水会ゴルフ大会 昨年同様、古庄氏、宮村氏のお世話で第三回緑水会ゴルフ大会が八月二十五日に肥後サンパレーカントリークラブで開催され、五十名の会員が参加されました。楽しく緑の中でプレーしながら親睦を深められていました。

☆緑水会研修旅行 今年、九月二十七日〜二十八日(一泊二日)の日程で、山口県萩市を観光されました。忙しい時期で十一名の参加にとどまりましたが、出発時よりバスの中で大変盛り上がりだっていたようです。

☆同窓会110周年近まる 平成二十五年は、菊池農業高等学校創立百周年を迎えます。このことについて、会長以下三役及び事務局で話し合いを持ちながら、計画を進めています。募金活動や名簿作成は行わず、記念講演、祝賀会を行う予定です。講演者は元プロ野球選手「桑田真澄氏」を予定しています。会場は未定ですが、多くの会員の参加を期待します。

長年続く畜産科卒業生4人会

原 道徳